

議会報告会 報告書

彦根市議会議長 八木 嘉之 様

議会報告会 福祉病院教育常任委員会 班
奥野 嘉己

開催日時	平成30年1月21日(日) 10時00分～11時30分
開催場所	河瀬地区公民館 2階 大会議室
出席議員	馬場 和子、北川 元気、小川 喜三郎、 奥野 嘉己、矢吹 安子、長崎 任男、小菅 雅至
参加者数	一般参加者6人、委員以外の市議会議員6人、議会事務局職員2人、計14人
内 容 (内容及び時間配分)	(1) 司会オープニング (2) 開会挨拶 ((1)、(2)あわせて5分) (3) 第一部 報告 20分 ・小中学校における学力向上の取り組みについて ・子どもの貧困対策について (4) 第二部 2班に分かれてワークショップ(1回目) ・報告を参考に教育全般に対する意見提出 20分 ・各班発表 10分 (5) 第二部 2班に分かれてワークショップ(2回目) ・1回目のワークショップの意見を参考に追加提案 20分 ・各班での取りまとめ 10分 (6) 閉会挨拶 5分 (7) アンケート記入・閉会
主な意見	<u>第二部ワークショップ(1回目)</u> 第1班(彦根っ子応援隊) (地域について) ・地域のかかわりは? ・彦根の子供は地域活動など積極的。素直! ・地域の人々とのかかわり ・安心して通うことのできる学校 ・郷土の偉人をたたえる教育は? ・地域性の意識は? (学校について) ・支援として先生の補助役を増やしてほしい ・先生の力量

- ・教師力の向上対策は？
- ・現状の学校現場は大変。先生方への支援は必要
- ・先生の労働時間
- ・教員の働き方の影響
- ・スクールソーシャルワーカーの増員
- ・若手の先生が多い、退職した先生の補充を
- ・児童・生徒と先生のコミュニケーション
- ・学校の数が多い、少ない？
- ・彦根教育とは？
- ・宿題の量は適切か
- ・ランドセルが重い、家庭学習の為か
- ・子ども一登、教室の数は

(子どもの貧困について)

- ・子ども食堂の存在の周知
- ・外食の比率が昔より多いのでは
- ・子どもへの愛情をお金や物で表している傾向があるように思う
- ・子どもへの支援金は直接学校に行くように（公金化）
- ・子どもの貧困対策で明石市の予算は彦根市より多いのか？
- ・学童の役割が高まっている

(家庭について)

- ・いいわけ、うそをつく子供が多い気がする
- ・しつけは誰がするの、家庭？学校？
- ・家庭教育の重要性
- ・保護者の自覚が第一
- ・朝食欠食の理由の分析は？
- ・核家族の弊害
- ・子どもへのプレゼントが高額化
- ・親のわがまま
- ・夫婦共働きによる子供の孤立

(その他)

- ・小1プロブレム対策は
- ・小4の壁の存在
- ・高校無償化で中卒はなくなる？
- ・学力調査の向上は必要
- ・彦根の子の学力は県内順位って
- ・全国レベルって意味がある

第2班

(課題について)

- ・全国学力学習状況調査の知識活用力を問う B 問題に関し、応用力を高める
- ・子どもが希望を持てる状況でない
- ・彦根の成績が上がった

(スマートフォンについて)

- ・自主性に任せる、但しルールは親と決める、コミュニケーションをとる
- ・自分の考えを言える子供が少ない
- ・スマホの使用は自己責任
- ・使い過ぎが問題である
- ・自主性に任せるのが良い
- ・スマホに対するみんなの意見は？

(教育に関する資料について)

- ・資料が家庭・保護者に配布されていない
- ・資料、説明がわかりにくい

第二部ワークショップ (2 回目)

第 1 班 (彦根っ子応援隊)

- ・教員の質・量の問題
- ・教員の補助者増員
- ・教師の教育を強化
- ・市職員の郷土教育
- ・市職員の知識
- ・HPにこだわらないPR方法を
- ・家庭が孤立しない社会に
- ・もっと貧困に目を向ける
- ・子育てしやすいまちへ
- ・貧困、親が子の面倒を見ていない？
- ・地域が学校を支援する
- ・先生方の働き方改革への真剣な取り組み
- ・議員さんへ、予算の獲得のため情報をもっと集めてほしい
- ・家庭を支援する仕組み
- ・子どもへの投資をもっと
- ・米百俵の心
- ・家庭環境で頭が悪いのか
- ・学力・点数あげるだけで良いのか？

第 2 班

- ・親の問題である
- ・貧困がわからない⇒解決策は難しい
- ・貧困の現実がわかりにくい

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 貧困のイメージ、意義は？・ 朝食を食べないのは家庭の問題・ 絶対的、相対的なこと・ 各家庭、本人がそう思っているのでは？・ 親の責任は何か？・ 自分で考えるのが重要・ 貧困でもスマートフォンは持っている・ 親の就労との関連性が重要・ 親が子供に甘い・ 親の責任が大切 |
|--|--|